

[ニュース&トピックス](#)
[各種法令・制度・手続き](#)
[事例・統計情報](#)
[窓口案内](#)
[労働局について](#)
[ホーム](#) > [ニュース&トピックス](#) > [イベント](#) > [2018年度](#) > [平成30年度ベストプラクティス企業への職場訪問について](#)
[ニュース&トピックス](#)
[報道発表資料](#)
[トピックス](#)
[イベント](#)
[2017年度](#)
[2016年度](#)
[2015年度](#)
[2014年度](#)
[2013年度](#)
[ハローワークからのお知らせ](#)
[労働基準監督署からのお知らせ](#)
[フォトレポート](#)

## 平成30年度ベストプラクティス企業への職場訪問について

～ 高森労働局長がジヤトコ本社を訪問しました ～

厚生労働省では、11月を「過重労働解消キャンペーン」と定め、長時間労働の削減等、過重労働解消に向けた周知・啓発、集中的な監督指導等を実施しています。

このキャンペーンの一環として、高森洋志静岡労働局長は、平成30年11月27日(火)、自動車用自動変速機製造会社のジヤトコ株式会社(富士市今泉700番地の1 代表取締役社長 中塚晃章)の本社を訪問しました。

同社では、パソコンのログオン・ログオフ時間を自動的にデータとして集積するシステム「電子出勤簿」を用いた、リアルタイムでの労働時間管理を行っています。また、終業から翌日の始業までに一定の時間を空けて休憩時間を確保する勤務間インターバル制度や在宅勤務制度を導入する等、人事制度の導入・運用の取組みだけでなく、会議の効率・効果的な運営のために定めた「Meeting way」、長い文章や送信先の多いEメールを回避することを旨とした「Mailing way」といった、コストをかけず、すぐに始められる効率化の取組みを全社内で行っていることによる労働生産性の向上等の効果の説明がありました。

同社長からは、従業員のQOL(生活の質)を重視した意識改革を行っており、今後も働き方改革を進めていく旨の話があり、高森局長も地域のリーディングカンパニーとして、長時間労働削減に向けた働き方改革の波及効果に期待を示しました。

静岡労働局では、今回紹介いただいた同社の積極的な取組事例を広く紹介し、県内企業の過重労働解消に向けた気運の醸成を図っていきます。



中塚社長(左)から取組事例の説明を受ける高森局長(右)  
(本社社長室にて)



電子出勤簿、在宅勤務制度、勤務間インターバル制度等の説明  
を受ける高森局長(右側手前) (本社会議室にて)

[関連リンク](#)
[労働基準監督署](#)
[ハローワーク](#)
[マザーズハローワーク](#)
[附属施設](#)
[その他のお知らせ](#)
[ハローワーク  
インターネットサービス](#)


サイト内のPDF文書をご覧になるにはAdobe Readerが必要です。

この記事に関するお問い合わせ先  
労働基準部 監督課 TEL : 054-254-6352

[労働基準部  
のページ](#)
[職業安定部  
のページ](#)
[雇用環境・均等室  
のページ](#)
[静岡労働局  
メールマガジン](#)